【 競　技　の　進　め　方 】

１．対戦チームと向かい合ったら、お互いに礼をしましょう。

２．進行係の合図で、審判が取り札を対戦チームの真ん中におきます。

３．進行係の「じゃんけんをしてください。」の合図で、両チームの真ん中の人がじゃんけんをし、**勝ったチームが札を切り、２３枚ずつに分けて札をおきます。負けたチームは好きな方をとります。**

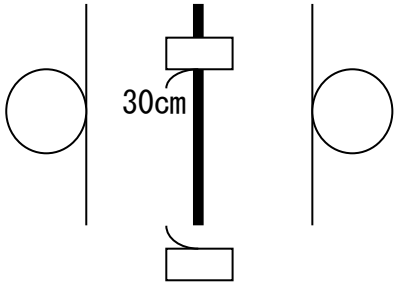
４．進行係の「並べて下さい。」の合図で、**真ん中の人が自分の陣内の審判側上の段から２段に速やかに並べます。**この時は、**札を選んだり、入れ替えたりしないで順番に並べます。**

記憶時間は**並べ始めてから（「並べて下さい」と言ってから）３分間です。**

５．進行係の「それでは始めます。」の合図で、読み手がから札の「輪になって・・・」を２回読みます。

３回目に読まれた札から取り始めて下さい。

６．取り札が最後の２枚になったら、**下の図のように３０㎝離して並べ、代表一人ずつで競います。**読み手が**「から札」を２回読んでから残りの札を読みます。**２枚のうち１枚を先にとった方が残りの札も取れます。お手つきをした場合　（先に札に触れた方）は、相手に最後の 2 枚と持ち札 1 枚、計３枚渡します。両チームが同時にお手つきをした場合は、2 枚とも審判預かりとします。



７．競技終了後、点数計算を行います。１枚１点です。ただし、【やく札】シンボル札（を・う・け)、３人札（に・か・し）は３枚揃った時、１０点加算されます。

８．競技終了後、お互いに礼をしましょう。

次ページに続く

【 競　技　上　の　注　意 】

〇札を並べる時は、札を選んだり、入れ替えたりしないで並べてください。

〇競技中、読み札が読まれるまでは、両手を膝の上に置いてください。また、空いている片手は膝の上に置いたままにしてください。

〇かるたマットに膝が入らないようにしてください。

〇交代は、原則として試合中はできない。ただし、試合途中において出場選手が健康上試合続行不可能と審判員が判断したときは、交代することができる。

〇**あいこの場合は、**陣内にあいこになった札があるチームが札を取ることができます。ただし、その札が「やく札」の場合は審判預かりとなります。

〇**お手つきの場合は、**相手に持ち札を１枚渡します。持ち札がないときは渡さなくても結構です。味方の三人が同時に「お手つき」をしても、相手に渡すのは一枚です。

〇**同点の場合は、**“から札「**わ**」”の札を持っている方が勝ちとなります。

〇やく札には**“三人札”**と**“シンボル札”**があります。
三人札は“「に」「か」「し」”の札で、シンボル札は“「を」「う」「け」”の札をいい、それぞれ３枚集めると取った枚数（得点）に１０点加算されます。

〇吉見郷土かるたには、「ん」と「を」の札がありますので注意してください。
「ん」の読み札は「膳椀を　龍がそろえた　椀箱淵」
「を」の読み札は「大空を　さえずるひばり　町の鳥」

〇その他、競技中問題が起こったときは、選手同士で直接言い合わないで、必ず審判を通してください。

〇リーグ戦において勝敗が同じ場合は、点数の多いチームが勝ちとなります。点数も同じ場合は代表者のじゃんけんにより、決定します。

〇試合の順番につきましては、当日資料を良く見て確認してください。

〇試合ごとに５分間の休憩をはさみます。

※吉見郷土かるたに同封の「遊び方」と違う点がありますので、よく読んでください。
分からない点がありましたら、事務局までお問い合わせください。　☎５４－１５１３